

人工関節置換術患者における深部静脈血栓症発生の危険因子と抗凝固療法に影響する因子に関する研究

この研究は下肢人工関節置換術における合併症の一つである静脈血栓塞栓症の主な原因である深部静脈血栓症発生の危険因子および術後に行っている薬剤の予防治療の効果に影響する因子を見出すことを目的としています。

当科で2003年以降に人工股関節置換術もしくは人工膝関節置換術をうけられた患者さんへ

当院では患者さんの診断および治療を最優先で行っておりますが、同時に医学発展を目的とした研究機関でもあります。当科では人工股関節・人工膝関節の手術をうけられる患者さんには手術前に下肢静脈エコーを行い、深部静脈血栓症の有無について調べています。手術後は深部静脈血栓症の予防もしくは治療のために抗凝固療法を行っています。手術後にも下肢静脈エコーを行い、経過を診ていくことで深部静脈血栓症の診断、薬剤効果を観察し、患者さんの静脈血栓塞栓症の発症予防に寄与できるように努めています。

研究の内容および方法について

この研究は2003年以降に当科で人工股関節・人工膝関節置換術を受けられた患者さんの深部静脈血栓症発生の有無について事後に詳細に検討します。下肢静脈エコーの検査所見については年齢、性別、既往症、血液検査所見、術後経過などの臨床データを付与して、匿名化、番号化したうえで検討していきます。

結果について個人を特定することは行わず、患者さんに金銭的なものを含め、負担は一切ありません。この研究では、委任経理金を使用します。本研究の実施にあたり、研究責任者および研究担当者は、三重大学大学院医学系研究科・医学部・附属病院臨床研究利益相反委員会に必要事項を申告し、審査を受け、承認を得ております。

この研究内容および方法については当学倫理審査委員会で承認が得られたものです。

ご自身の下肢静脈エコーの検査所見についてこの研究で使用を希望されない場合には、お手数ですが下記の連絡先までご連絡頂くようお願い致します。また、下肢静脈エコー所見の使用にあたって患者さんご自身、家族の方に診療上の不利益が生じないように以下のことを厳守します。

- 医学研究以外には使用しません。
- 患者さんおよびご家族の方の氏名は公表しません。個人情報厳守します。
- 研究結果は学会、研究会、学術論文以外では発表しません。

連絡先：三重大学医学部附属病院整形外科 若林弘樹

住所 〒514-8507 三重県津市江戸橋2丁目174番地

電話 059-231-5022 FAX 059-231-5211